

ご理解とご協力を

市庁舎増築棟の新築工事が始まります

10月から、市庁舎増築棟の新築工事が始まります。増築棟については、前川國男の特徴を生かし、庇（ひさし）のある本館の外観デザインと新館の打込タイル外壁の併まいを採用した景観に配慮したものとなります。また、増築棟の新築による駐車スペースの減少を回避するため、現在建設中の立体駐車場については、11月上旬に利用開始予定です。

各工事期間中は安全管理のため、立ち入り禁止区域の設置や警備員による誘導が行われます。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【概要】

▽構造 鉄筋コンクリート造（免震構造）地上5階地下1階
▽工事期間 10月～平成28年3月（予定）

移住・子育てを応援する企業に

移住応援・子育て応援企業認定制度

市では、最重要課題である人口減少の影響を緩和するため、移住応援企業、子育て応援企業の認定制度を創設し、7月31日に協力金融機関であるみちのく銀行とともに発表しました。

各制度の認定基準を満たし、認定を受けた企業等は、市のホームページで企業名やその取り組み事例が紹介されるなど、自社の活動をPRすることができます。また、認定を受けると、企業および従業員に対して協力金融機関が行う低利融資制度などに申し込むことができます。制度の内容など詳しくは、次のホームページをご覧になるか、各担当にお問い合わせください。

①移住応援企業認定制度ホームページ…http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyosei/seido/juku_kigyo/index.html

【増築棟の位置付け】

増築棟は、地震の影響を最小限とするため免震工法を採用します。このことにより災害時における迅速な対応が可能となり、市の災害対策の拠点となります。具体的には、災害対策機能や重要な設備機器等を増築棟に集約することで、災害指令機能や避難者対応機能の確保、ライフライン途絶時ににおける庁舎機能の維持が可能となり災害時における市民の安全・安心を確保します。

■問い合わせ先 財産管理課（☎ 35・1120）

外観イメージ
(中央が増築棟、左上は本館)

知識と経験を生かしてみませんか

弘前市立郷土文学館運営委員会の委員募集

郷土文学館の運営に関して市民の皆さんのお意見を反映させるため、弘前市立郷土文学館運営委員会の委員を募集します。

▽応募資格 市内に在住する満20歳以上の人で、年2回程度、平日の日中に開催される会議に出席できる人（議員および市職員（退職者を含む）を除く）
※現在、既に市の審議会などの委員になっている人はご遠慮ください。

▽募集人員 1人

▽募集期間 9月15日～10月10日（必着）

▽委員の業務 郡土文学館に関する資料の収集・展示、その他運営について意見を述べ、また、協力すること（年2回程度）

▽任期・報酬など 任期は11月1日から2年間。会議1回の出席につき、報酬と交通費を支給

▽応募方法 次の事項を記入した応募用紙を、郵送、

持参、ファクスまたはEメール（添付ファイルの容量は1メガバイト程度まで）で提出を。

①住所・氏名（ふりがな）・生年月日・性別・職業・電話番号

②志望動機または自己PR

③郷土文学館の将来像または運営に関する意見・提言など（800字程度）

※応募用紙の様式は自由ですが、参考様式を市ホームページに掲載しているほか、郷土文学館で配布しています。なお、応募用紙は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

▽選考方法 選考委員会で選考し、結果を応募者全員に通知します。

■問い合わせ・提出先 市立郷土文学館（〒036・8356、下白銀町2の1、☎ 37・5505、ファクス36・8360、Eメールbungaku@hi-it.jp）

がん検診推進事業
のお知らせ

子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券について

市では、がんの早期発見と正しい健康意識の普及および啓発を図り、健康保持・増進を図ることを目的として、国の方針に基づき、子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポンを配布します。対象となるのは下記に該当する人です。

対象年齢に該当する人で、平成26年4月20日現在、弘前市に住民登録のある人には、9月中に無料クーポン券を発送する予定です。

なお、対象のうち、すでに市の子宮・乳がん検診を受診し、自己負担金を支払った人には自己負担金を助

成しますので、領収書の保管をお願いします。詳しくは、クーポン券と一緒に送付するお知らせをご覧ください。

また、4月21日以降に弘前市に転入した対象年齢の人は、前住所地の市区町村からクーポン券が発行されます。既に前住所地の市区町村からクーポン券が送付されている人は、お問い合わせください。

■問い合わせ先 土・日曜日、祝日を除く午前8時半～午後5時に、健康づくり推進課（野田2丁目、弘前市保健センター内、☎ 37・3750）へ。

乳がん（女性）

対象年齢	生年月日	対象者の範囲
20歳	平成5（1993）年4月2日～平成6（1994）年4月1日	全員
22歳	昭和63（1988）年4月2日～～25歳（1992）年4月1日	過去（平成21年度～24年度）に無料クーポン券の対象となった人のうち、配布された年度中に市の子宮がん検診を受診しなかった人
27歳	昭和58（1983）年4月2日～～30歳（1987）年4月1日	対象となった人のうち、配布された年度中に市の子宮がん検診を受診しなかった人
32歳	昭和53（1978）年4月2日～～35歳（1982）年4月1日	対象となった人のうち、配布された年度中に市の子宮がん検診を受診しなかった人
37歳	昭和48（1973）年4月2日～～40歳（1977）年4月1日	対象となった人のうち、配布された年度中に市の子宮がん検診を受診しなかった人

※対象年齢は子宮頸がん・乳がんともに平成26年4月1日現在。

※「過去に無料クーポン券の対象となった人のうち、配布された年度中に市の検診（子宮・乳がん検診）を受診しなかった人」とは、「無料クーポン券を利用しなかった人（有料で受診し、払い戻しを受けた人を除く）」および「無料クーポン券が配布された年度中に市の子宮・乳がん検診（有料）を受診していない人」をいいます。

国際人を目標とする高校生・学生を支援

国際人育成支援事業費補助金

▽派遣先 カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド

▽期間 2週間～（派遣先によっては1週間から可）

【市の補助金および事業参加申込について】

▽対象 市内に住所を有する県内の高校生および県内の大学・短期大学・専修学校に在籍する学生

▽補助金額 補助対象経費の実支出額の8割または24万円のいずれか少ない額を概算払いにより交付（協会への参加料納付前に交付）

▽申し込み方法 10月15日までに、参加申込書および補助金申請書を文化スポーツ振興課（市役所2階、窓口253）へ。

※申込書および申請書は同課で配布しています。

▽選考・交付 申し込みのあった生徒、学生のうち、市の選考委員会において選考された高校生3人・学生1人に対して交付（予定）します。

■問い合わせ・申込先 事業の内容について…国際青少年研修協会（☎ 東京03・6417・9721、Eメールinfo@kskk.or.jp、ホームページhttp://www.kskk.or.jp）／申し込み・補助金について…文化スポーツ振興課文化振興係（☎ 40・7015）